

平成28年度第5回小牧市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 平成29年2月22日(水) 午前10時00分から

2 開催場所 小牧市役所東庁舎大会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 西部支配人

水野 泰
(澤村 忠 代理)

名鉄バス(株) 取締役

近藤 博之

あおい交通(株) 代表取締役

松浦 秀則

愛知県タクシー協会 副会長

河村 富貴

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

伊藤 匠二

小牧市区長会 連合会長

公共交通利用促進協議会 会長

小柳 松夫

小牧市老人クラブ連合会 副会長

平手 満治

小牧市女性の会 副会長

酒井 美代子

生涯学習ボランティア・こまき 代表

森 勝昭

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯部 友彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

杉本 忠久

愛知県 振興部 交通対策課主幹

桑原 良隆
(山口 彩 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

船坂 透

犬山市 市民部 地域安全課長

田中 豊明

豊山町 産業建設部 地域振興課長

堀尾 政美

小牧市 健康福祉部長

舟橋 毅

小牧市 都市建設部長 (建設担当)

平岡 健一

小牧市 都市建設部長 (都市整備担当)

渡辺 学

(2) 事務局

小牧市 都市建設部 都市政策課主幹

河村 昌二

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係長

松浦 善行

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主査

金子 清一郎

小牧市 都市建設部 都市政策課主事

武川 真子

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事補

上條 稔貴

小牧市 都市建設部 都市政策課計画係長

大澤 正人

㈱国際開発コンサルタント名古屋支店
㈱国際開発コンサルタント名古屋支店
㈱国際開発コンサルタント名古屋支店
㈱中部速記センター

小 林 良 治
加 藤 洋 司
渡 辺 一 真
原 口 千 秋

(3) 傍聴者

3名

4 議題

(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について

- ・策定の背景から課題整理までについて
- ・基本的な方針について

(2) 平成 29 年度事業計画及び予算について

5 報告

(1) 第三者評価委員会の結果報告（速報）について

6 会議資料

- 資料 1 小牧市地域公共交通網形成計画（素案）
- 資料 2-1 V 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針（案）
- 資料 2-2 基本理念、将来像及び基本方針の対照表
- 資料 3-1 平成 29 年度小牧市地域公共交通会議事業計画（案）
- 資料 3-2 平成 29 年度小牧市地域公共交通会議予算（案）
- 資料 4 平成 28 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）
- 参考資料 こまき巡回バスの外国人向けコース図と時刻表の拡大版を作成します。
- 参考資料 「愛知県の地域公共交通」のこれからを考える！

7 議事内容

【事務局】（金子主査）

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいまから平成 28 年度第 5 回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日、議事録を速やかに作成するため速記を入れさせていただいており、お手元の机の近くにマイク等が配置してありますが、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、会議の開催に先立ち、事務局を代表いたしまして都市政策課主幹の河村よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】（河村主幹）

皆様、おはようございます。

本日は、大変お忙しい中、本会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本市では、今年度と来年度の2箇年をかけまして、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランといたしまして「小牧市地域公共交通網形成計画」の策定を進めているところでございますが、本日は、今年度の取りまとめといたしまして、この計画の課題の整理までと今年度策定いたします基本計画(案)に関しましてご協議をいただきたいと考えております。

また、本会議の平成29年度の事業計画(案)及び予算(案)につきましても、併せてご協議をいただきたいと考えております。

いずれも小牧市地域公共交通網形成計画の策定を行うにあたりまして大変重要な内容となっておりますので、委員の皆様方にはよろしくお願いいたしまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

【事務局】(金子主査)

なお、本日の出席委員は18名であります。従いまして、委員総数22名の過半数に達しておりますので、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、まず本日の会議資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第でございます。資料1としまして「小牧市地域公共交通網形成計画(素案)」でございます。資料2-1としまして「V 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針(案)」でございます。資料2-2としまして「基本理念、将来像及び基本方針の対照表」でございます。資料3-1としまして「平成29年度小牧市地域公共交通会議事業計画(案)」でございます。資料3-2としまして「平成29年度小牧市地域公共交通会議予算(案)」でございます。資料4としまして「平成28年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要(経緯)」でございます。また、本日机上に配付させていただきましたが、参考資料としまして「こまき巡回バスの外国人向けコース図と時刻表の拡大版を作成します。」でございます。同じく、本日配付させていただいております緑色の資料「愛知県の地域公共交通のこれからを考える！」でございます。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や、不足、乱丁等ございましたら、事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。

ご確認ありがとうございます。

ここで、一つ訂正をさせていただきます。事前にご送付させていただきました資料1の97ページの中段でございます。赤字で表記してある箇所及び図11におきまして、資料では「小牧市観光振興計画」となっておりますが、正しくは「小牧市観光振興基本計画」でございましたので、本日はお手元に修正した1枚紙をお配りさせていただきました。資料に不備がございましたことをお詫び申し上げます。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社西部支配人の水野委員に代わりまして犬山幹事副幹事駅長であります澤村様に、愛知県振興部交通対策課主幹の桑原委員に代わりまして同課主事であります山口様にそれぞれご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

それでは、会議を始めるにあたりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろ

しくお願いいたします。

【磯部会長】

皆様、おはようございます。

年度末で、いろいろとお忙しいところだと思いますが、今年度を振り返ってみますと交通に関していろいろと話題がありまして、大きいものは高齢者ドライバーがどうなんだという話が話題になっています。と言いながら、元気で乗っていただきたいというのはありますけれども、あまり乗るのにふさわしくなければ、その受け皿としての何か別の交通システムが要るんじゃないかなと。そうすると、この地域公共交通の位置づけが改めて重要だなというのがあります。

実は私どもの研究室で昨年度と今年度、とあるデータを分析しました。今回の網形成計画に載っていますけれども、中京都市圏パーソントリップ調査というのがあるんですけど、これは10年に1回やっていて、2011年のデータが第5回ということですから、約40年前のデータも残っているんですね。

高齢者の方がバスの利用ってどうだろうなというんですけども、一つの傾向がありまして。やはり若い頃にバスを使った経験のある世代の方はこういうコミュニティバスが導入されてもすぐ使ってくれるんじゃないかなと。そうじゃないとなかなか、バスの乗り方を知らないとなるとちょっと抵抗があるんじゃないかなという傾向が、うっすらでありますけど、まだ確信を持って言えるわけじゃないですけど、出てきたというのがあります。

そうなりますと、後追いでいろんな施策をやるのは良くて、やっぱり若い頃からいろんな乗り物があるよという、皆さん使えというわけじゃなくて、あるよと、使った経験があるよという方々がいると、新しい乗り物とか今使っている乗り物から離れて違う乗り物への抵抗がなく移れるんじゃないかなと。

どうしても自動車に依存してしまいますと、それしか知らないというのでなかなか他の乗り物に乗り移りにくいというのがあるんじゃないかなと思いますので、高齢者になる前からいろんな乗り物があるよと、使ってみませんかみたいなことをやっていくと、それが10年後20年後役に立つのかなとうっすらと感じているところがございますので、この辺りの公共交通施策の促進も長期スパンでいろいろと考えるのが必要かなと思っていますので、そんなことをまたご参考にしていただければいいかなと思っています。

それでは、今日も慎重な審議をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】（金子主査）

磯部会長、ありがとうございました。

続きまして、次第の2. 議題であります。今後の議事の進行につきましては磯部会長にお願いしたいと思います。磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

議事を進めさせていただきます。

初めに、本会議は公開が原則となっております。本日は3名の方から会議傍聴の申し出がございました。承認いたしましたので、ご報告申し上げます。

それでは、議事を進行してまいります。

まず、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について ・ 策定の背景から課題整理までについて ・ 基本的な方針について」であります。

こちらは前回の会議で議論した内容を踏まえて修正したうえで、これまでの資料を冊子としてまとめたものと、同じく前回の会議後、修正・加筆したものの中に、基本方針と公共交通体系のイメージ図を追加したものであります。

まずは、この件につきまして事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】(松浦係長)

それでは、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について ・ 策定の背景から課題整理までについて ・ 基本的な方針について」をご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料1をご覧ください。「小牧市地域公共交通網形成計画(素案)」でございます。この資料は、今年度の取りまとめとして、これまでご協議いただきました小牧市地域公共交通網形成計画の内容を素案としてまとめたものでございます。

1枚めくっていただきますと、目次が記載されております。この冊子には、第1章の「地域公共交通網形成計画策定の背景」から、第4章の「小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理」までをまとめております。

目次の2ページ目をお願いいたします。

第5章「持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針」、青枠で囲った部分になりますが、こちらは今回、資料2-1としてお示しさせていただいております。

また、第6章以降の赤字になっている部分につきましては、来年度にご協議いただく内容でございます。来年度につきましては、第6章及び第7章の1までの部分を第1回の会議で、第7章の2から第8章までの部分を第2回の会議でご協議いただきたいと思いますと考えておりますので、ご承知いただきますようお願いいたします。

続きまして、少し飛びまして、97ページをお願いいたします。

こちらにつきましては本日配付した資料となりますが、前回の会議で課題整理についてとしてご協議いただいた部分となります。

このページの中段赤字の部分でございますが、小牧市観光振興基本計画における来訪者アンケート調査では、小牧市に不足している要素として「移動交通の便利さ」が多く挙げられていることを追加し、その次の愛知県訪日外客動向調査につきましては、課題との関連性を考慮し、愛知県での訪問先や外客者が満足した点を削除いたしました。

また、一番下の赤字の部分につきましては、前回は「市外からの来訪者に対しては、交通機関等のわかりやすい案内・情報の提供が必要」としておりましたが、中段で加えました小牧市観光振興基本計画における来訪者アンケート調査を踏まえ、「市外からの来訪者には、移動交通の便利さや案内表示のわかりやすさが求められており、利用しやすい交通機関等の環境充実やわかりやすい案内・情報の提供が必要」と変更しております。

続きまして、103ページをお願いいたします。

中段の赤字の部分でございますが、ただいま97ページにてご説明させていただきました市外からの来訪者に対する課題を修正したことに伴い、こちらも同様に修正したものでございます。

続きまして、お手元の資料2-1をご覧ください。「V 持続可能な地域公共交通網の形成に資

する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針（案）」でございます。

この資料２－１は資料１にⅤ章として加える予定をしておりますので、書式等を見直したほか、前回の会議における各委員の意見を踏まえ一部修正したうえで、各将来像を展開した基本方針と公共交通体系のイメージ図を追加しております。今回は、この資料のうち前回からの主な変更点と追加した部分についてご説明申し上げます。

なお、前回の会議から一部修正した部分につきましては、赤字にて示しております。

また、小牧市地域公共交通網形成計画の基本理念、将来像及び基本方針を小牧市総合交通計画と比較した表を資料２－２としてお示ししておりますので、併せてご確認をお願いします。

それでは、資料２－１の２ページをお願いいたします。

「将来像１ 活力あるまちづくりを支える交通体系」であります。まず、将来像１の説明文３行目に「中心拠点の活性化と」という文言を加えさせていただきましたが、これは基本方針１－②の文言を加えることにより、将来像と基本方針との関係をよりわかりやすくしたものでございます。

次に、「基本方針１－① 市内の拠点相互の連携強化に資する交通体系の構築」であります。交通体系の骨格として小牧市都市計画マスタープランに掲げる南北鉄道軸と東西公共交通軸を形成して市内の拠点を結び、拠点相互の連携強化を図ります。

次に、「基本方針１－② 中心拠点の活性化を支援する交通体系の確立」であります。中心拠点へのアクセス利便性及び中心拠点内のモビリティの向上とともに、中心拠点における交通結節点機能の強化を図ります。

次に、「基本方針１－③ 集約型市街地形成を支援する交通体系の構築」であります。地域の特性に応じ地域拠点へのアクセス利便性の向上とともに、地域拠点における交通結節機能の強化を図ります。

続きまして、「将来像２ 持続可能な交通体系」でございます。将来像２の説明文３行目、赤字の部分であります。公共交通の利用を啓発」としていた部分を「公共交通の利用促進に向け啓発」として、よりわかりやすい表現に改めました。

次に、「基本方針２－① 自動車交通に偏りすぎない環境にやさしい交通体系の構築」であります。環境への負荷を与えない循環型社会の構築に向け、自動車交通に過度に依存することがないように公共交通の周知・PRと利用促進により、市民一人ひとりが自発的に節度ある交通行動の選択を可能とします。

次に、「基本方針２－② 経済的に維持が可能で、安定的・持続的な交通サービスが提供できる交通体系の構築」でございます。安心して安全な市民生活を送るためには、交通サービスが安定的・持続的に提供され続けることが重要であり、バス運行にあたりましては適正な受益者負担と路線機能や利用特性に応じた交通サービスの提供の妥当性を検証し、必要な対策を地域全体で検討できるシステムの構築を図ります。

続きまして、「将来像３ 地域を支える交通体系」であります。将来像３の説明文２行目、赤字の部分につきましては、「全ての人々が公平に移動できる」としておりましたが、この文言が意図するバリアフリー化施策だけでなく、料金体系などについても公平にとの誤解を持たれる懸念がございましたので、「全ての人々が利用しやすい」に改めました。

次に、「基本方針３－① 行政による必要最低限の交通サービスの提供」でございます。移動は文化的な生活を営むための市民の権利であり、行政として必要最低限の交通サービスの提供を図ります。

次に、「基本方針 3-② 高齢者や障がい者等の移動制約者を含む全ての人が利用しやすい交通体系の構築」でございます。移動手段の不足が社会参加の妨げとならないよう、高齢者や障がい者などの移動制約者を含む全ての人が利用しやすい交通環境の提供を図ります。

なお、総合交通計画では、将来像 2 の中に含まれていたものでございますが、福祉的な観点が含まれているため、今回将来像 3 の中に含めさせていただきました。

続きまして、「将来像 4 交流を促進する交通体系」でございます。まず、将来像 4 の説明文冒頭、赤字の部分でございますが、観光振興との連携と広域性の確保を入れ替え、その後の文言や基本方針の順序との整合性を図りました。

次に、「基本方針 4-① 周辺都市と連携する交通体系の構築」でございます。市内の拠点から名古屋など結びつきの強い都市を結ぶ都市間連絡軸を形成するとともに、周辺都市の地域公共交通と連携し、広域的な公共交通ネットワークを形成します。

次に、「基本方針 4-② 観光需要にも対応した交通サービスの提供」であります。市外からの来訪者が市内主要観光施設にアクセスできるよう、市内の拠点または鉄道駅から市内主要観光施設への交通手段を確保するとともに、わかりやすい交通サービスを提供します。

続きまして、4 ページをお願いいたします。

公共交通体系のイメージ図であります。こちらは、これまでご説明させていただきました小牧市地域公共交通網形成計画の将来像及び基本方針の達成により実現を目指す公共交通体系のイメージを図として示したものでございます。

以上、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について ・策定の背景から課題整理までについて ・基本的な方針について」の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がございました資料 1 は、前回までの議論で使ったものでありますが、前回までの議論を踏まえて修正してあるということでございます。資料 2-1 が、第 V 章という形で新たにご提案するという事です。なお、これは小牧市が前から持っています総合交通計画でもこういう基本理念、将来像が謳ってありますので、それと食い違いのないようか、それを継承するという形での位置づけもありますので、その対応表が資料 2-2 であるということでございます。

これらにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

資料 1 をもう一遍見直して何かお気づきの点がありましても、ご発言をお願いしたいと思います。事務局が説明したところだけではなくて、資料 1 をそろそろ確定したいので、もしもう一遍見直して何かまだまだちょっと、おかしいな、変だな、こういうことはどうかなというのがありましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

【河村委員】

タクシー協会の河村です。

1 点だけ。ちょっと言葉の意味がよくわからないんですけども、資料 2-1 の将来像 4 交流

を促進する交通体系の中で、「広域性の確保」というのは、ちょっと私はイメージがわからないんですけれども。将来像として「広域性の確保」というのは具体的にどういったことを言っているのかなという、その辺りをちょっと教えていただきたいんですけれども。

【事務局】（松浦係長）

こちらの「広域性の確保」という言葉でございますが、こちらの内容につきましては基本方針4-①のところに記載させていただいている内容ということで、小牧市と近隣市町、また名古屋市などの他市町との連携を公共交通網で形成していきたいということで、「広域性」という言葉を使わせていただいているところでございます。

以上でございます。

【磯部会長】

この「広域性の確保」と言う言葉だけでは、ちょっと言葉足らずじゃないかということですかね。

【河村委員】

広域性の確保と言われると、その辺りが結びつかない。

【杉本委員】

運輸支局の杉本であります。

この内容の説明は事務局からの説明ということになりますが、この「広域性」という言葉を「広域移動の確保」とかいった、もう少しわかりやすい言葉にさせていただくとすっきり落ちるのかなと思いますので、お考えいただければと思います。

それと、後から第三者評価委員会の評価結果もございますけれども、この前、2月13日に自己評価に関する第三者評価委員会がありまして、そこであったご意見もこの基本方針の参考にしていただければと思います。総じて、意見があったのは広域移動のところ、基幹交通の位置づけですね。鉄道などと、あるいは栄へのバスというものを網形成計画でしっかり位置づけてほしいということと、ピーチバスとの乗り継ぎ関係、桃花台センターと東西交通軸との関係だとか、あるいは間内・岩倉線が今非常に好調だという話もありましたので、こういったところはしっかり位置づけてくださいといったところ、あるいはこまき巡回バスへの投資額、桃花台地区の高齢化、これらの問題をどう計画の方に位置づけていくかということをやってくださいというご意見がありましたので、それを基本に皆さん方にこちらの方の資料も見ていただければと思っております。

それと、これから網形成計画の実際の作成ということで、現在素案というふうに位置づけられておりますが、素案だけで102ページありますので、非常に長くなります。非常に重要な部分もありますが、例えば、アンケート結果とか、そういった部分につきましては参考資料という形で後ろにつけていくような形も今後作りこみの中で考えていただければいいのかなと思います。まずは背景とか、どういう計画を作っていくんだということをしっかり位置づけしたうえで、そうした整理を少しさせていただくと見やすいのかなと逆に思います。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございました。

資料2-1の3ページの将来像4のところの字句の話から入っていろいろと発展していったわけですけども、この「広域性の確保」という、全体を見ればわかるんでしょうけれども、そこだけ見ってしまうと何だろうなと思うというのが今の委員の意見ですから、その辺りどうでしょうか、事務局からご提案があれば。

【事務局】（松浦係長）

先ほど河村委員から、こちらの言葉がわかりにくいという意見と、杉本委員からのアドバイスもいただきましたので、こちらはよりわかりやすい言葉に変更させていただいて、次回お示しさせていただきますと思います。

以上でございます。

【磯部会長】

よろしく申し上げます。

まず、「移動」という言葉とか。私が思うには、「移動」というよりも「移動の方法」、「移動手段」とか「移動サービス」とかいろんな言葉があるんでしょうね。なので、ちょっとその辺り、言葉を選んでもらって、全体と合うような形で修正を考えてください。

ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

【小柳委員】

字句の修正とかを申し上げるのではなくて、資料2-1の将来像2の一番下の部分ですけども、「適正な受益者負担と路線機能」と書かれております。私がここで思うのは、現在、こまき巡回バスが非常に順調で、高齢者、要するに無償で乗れる人たちが60%を超えているというように書かれていますと思いますが。私も実はその対象の1人でございます。時々こまき巡回バスを使うと、無償で乗る人たちが、乗車するときも下車するときも非常に申しわけなさそうに、「すみません。お世話かけました。」と言っていくんですね。一方、有料で乗っている方もおられますけれども。そういう気持ちで乗っておるということもひとつ考慮しながら、持続可能という面ではどうなるんだと思います。恐らくこまき巡回バスはさらに充実したPRをしますと、もっと利用者が増えると思います。したがって、持続可能なということと受益者負担というものの背景がこの中に含まれておるのかどうかということ。

もう一つ、ここに書いておりますように、「必要な対策は地域全体で」ということですので、地域住民も含むというようにこの文書から理解していいのかどうかということをお尋ねしておきたいと思います。

以上です。

【磯部会長】

二つございました、2ページの基本方針2-②辺りの文言の、要は言葉の解釈、どういう意味を含んでいるかなというものの確認ということだと思います。いかがでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

小柳委員の言われるとおり、こちらの「適正な受益者負担」の中には、料金体系のことも含まれているということでございます。

また、一番下の「必要な対策を地域全体で検討できる」ということは、今言われたとおり地域住民と一緒に公共交通を考えていくことが必要だということを今後は重要視していきたいということで、こちらの文言を入れさせていただいております。

以上でございます。

【小柳委員】

了解です。

【磯部会長】

適正な受益者負担というものの考え方、非常に奥深い議論になると思います。表上の運賃の設定の仕方もありますし、それに対して支払い能力が低いとなると、その方には別途支援していくという。それは今の無償で乗せるという話もある面では適正な受益者負担という形には入ってくるんだらうなと思います。つまり、払える人は払うんですけど、ちょっと払にくい人たちは別途、別のほうから資金を回していくという話でしょうね。それでどういった、誰にどうしたらいいのかというのを細かに考えていくというのが受益者負担の考え方だなと思います。全員からお金を取るぞと言っているわけじゃなくて、やっぱりそういうのでいろいろときめ細かく見ていかないかなんかというのがあると思いますので、そういうのも含んでいると私も思っていますので、よろしくお願いたします。

他いかがでしょうか。

よろしければ、資料1の体裁ですよね。杉本委員から、内容的にはいいんだけど、まとめ方として計画としてのしっかりわかりやすくコンパクトにまとめるということだと、その裏づけとなる資料をどうやって配置していくかということだと思いますので、その辺りはまた次年度で同じようなことが出てくると思います。いろんなデータを集めて、その裏づけ資料等を実際にどうするんだというのが出てくると思いますので、全体をまとめる時にまたいろいろと検討していくという形で考えていったらいいかなんか思っておりますので、それを心掛けるようにいたしましょう。よろしいですか。

それでは、今までのところも原案どおり承認することで決をとりたいと思います。原案どおり承認することでご異議ございませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について ・策定の背景から課題整理までについて ・基本的な方針について」は、承認されました。

続きまして、議題「(2) 平成29年度事業計画及び予算について」であります。こちらは、本

会議が来年度において実施する事業及び予算について定めるものであります。

まず、この件につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（松浦係長）

それでは、議題「（２）平成２９年度事業計画及び予算について」ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料３－１をお願いいたします。「平成２９年度小牧市地域公共交通会議事業計画（案）」でございます。

小牧市地域公共交通会議設置要綱第３条に規定する所掌事項を遂行するため、平成２９年度におきまして次の事業を実施いたします。

（１）としまして、市内における適切な乗合旅客運送の態様及び運賃等に関する事項。これは、道路運送法施行規則第９条の２の規定する運賃等の協議等に関するものでございます。

（２）としまして、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第５条第１項に規定する地域公共交通網形成計画の策定に関する事項。これは後ほど詳しくご説明させていただきますが、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に関するものでございます。

（３）としまして、その他目的を達するために必要な事項でございます。

恐れ入りますが、裏面をお願いいたします。平成２９年度地域公共交通網形成計画策定スケジュール（案）でございます。

これは事業計画案の（２）に掲げる地域公共交通網形成計画の策定に関し、平成２９年度のスケジュールを示したものでございます。項目１の計画書取りまとめとして、計画案につきましては１０月中旬頃までに取りまとめを行い、その後項目２のパブリックコメントを１２月に実施し、そこで得られた意見等を踏まえて、来年１月及び２月に計画案の修正を行います。項目４の公表・関係機関への送付につきましては、市で実施することとなりますが、平成３０年３月頃を予定しております。

また、項目３の地域公共交通会議及び策定部会につきましては、平成２９年度は５月、８月、１０月から１１月、１月の計４回の実施を予定しており、それぞれの内容につきましては、下の表のとおり予定しております。なお、地域公共交通会議につきましては、事業計画案（１）に掲げる事項であるバス路線見直しなどの案件が発生した際には、その都度開催いたします。

続きまして、資料３－２をお願いいたします。「平成２９年度小牧市地域公共交通会議予算（案）」であります。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ５５０万１，０００円であります。

まず、歳入であります。１款１項１目市負担金として５５０万円、地域公共交通会議運営負担金であります。４款１項１目雑入として１，０００円、預金利子等でございます。歳入合計は、５５０万１，０００円であります。

次に、歳出であります。１款１項１目会議費として４４万８，０００円、小牧市地域公共交通会議の開催に係る委員報酬等でございます。１款２項１目事務費として２，０００円、小牧市地域公共交通会議の運営に係る事務費でございます。２款１項１目事業費として５０５万円、平成２９年度小牧市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託料でございます。３款１項１目予備費として１，０００円あります。歳出合計は５５０万１，０００円で、歳入歳出同額でございます。

なお、歳出予算の各款、項及び目の予算額に過不足を生じた場合は、相互に流用することができるものとします。

以上、議題「(2) 平成29年度事業計画及び予算について」の説明とさせていただきます。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題(2)の予算の話でございます。これにつきまして、何か皆さんからご質問、ご意見ございませんでしょうか。事業計画と予算の話ではありますが、いかがでしょうか。

今年度、平成28年度の続きの作業をやっていくというのが大きな流れであります。会議もその分開催するというところでございます。よろしいでしょうか。

お諮りさせていただきます。平成29年度事業計画予算について、原案どおり承認することで異議ございませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題「(2) 平成29年度事業計画及び予算」につきましては、承認されました。

本日の議題としては以上でございます。

皆様、慎重にご審議いただきまして、ありがとうございます。

続きまして、次第3. 報告に入ります。

まずは、第三者評価委員会の結果報告(速報)についてであります。

これは何かといいますと、今年度から進めています地域公共交通網形成計画の策定作業とは、国の補助対象事業である地域公共交通確保維持改善事業として実施しております。そのため、前回の会議で議決していただきました地域公共交通確保維持改善に関する自己評価を用いて、国に対して、国が設置している第三者評価委員会に報告したということでもあります。

先ほど杉本委員からもお話がありましたように、それはもう作業は終わっておりますので、その辺りの状況につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】(松浦係長)

それでは、報告「第三者評価委員会の結果報告(速報)について」ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料4をお願いいたします。「平成28年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要(経緯)」でございます。

前回の会議におきまして、地域全体のネットワークを踏まえた評価及び見直しを行うことを目的とした地域公共交通確保維持改善に関する自己評価を実施し、ご議決いただいたところでございますが、前回の会議以降に中部運輸局よりお手元の資料4について追加提出の依頼がございましたので、事務局より提出させていただきましたことをご報告させていただきます。

この資料で記載した事項でございますが、「2. アピールポイント」のまず一つ目、小牧市地域公共交通網形成計画(基本方針案)の策定といたしまして、小牧市地域公共交通網形成計画の現在の策定状況を、二つ目、こまき巡回バス等の公共交通利用促進といたしまして、こまき巡回バスの

再編を踏まえた公共交通利用促進の取り組みについてをそれぞれ記載させていただきました。

なお、2月13日、先週の月曜日に中部運輸局におきまして平成28年度中部運輸局「地域公共交通確保維持改善事業」第三者評価委員会が開催され、今年度から策定を進めております小牧市地域公共交通網形成計画の策定等について評価をいただいたところでございます。

その中では、今回策定する計画について、コミュニティバスだけでなく、民間の路線バスや鉄道なども計画の中できちんと位置づける必要があること、各種調査の結果を活かしながら具体的な施策展開を考えること、特に桃花台地区におきましては、将来の高齢化や階段が多いなどの地域特性を見据えて対策を検討することなどのご指摘いただきました。

なお、評価結果につきましては後日に通知される予定でありますので、次回以降の会議においてまたご報告させていただきたいと思っております。

以上、報告「第三者評価委員会の結果報告（速報）について」の説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

前回の会議で自己評価をしたということですが、さらに追加という形で追加資料を要求されましたのでこの資料を出したということです。特にアピールポイントとして、何をどう頑張っているかということの説明をなさいということです。

自己評価というそういうものでありまして、まず自分たちでちゃんと良い仕事をやっていると思わないと他人も良いと思ってくれないということです。悪いところは自分たちでも分かっているということがこの自己評価の大事なところだなというところでございますので、いろいろとアピールポイントも出していただいたし、第三者評価委員会で、いろいろとアドバイスをいただいたということでございます。

これにつきまして、何か皆様からご意見とかご発言ありますでしょうか。

【小柳委員】

第三者評価委員会ですから、専門家、学識経験者の方からいろいろと意見をいただいたと思いますが、私は大事なことだと思います。今回のこの会議や具体的に計画を進める段階で様々なところからアンケートを頂戴いたしました。それを大いに参考にしながら計画を作り上げていくんですけども、私どもも地元でやっている様々なアンケートがありますけれども、そのアンケート結果についてフィードバックするというか、報告会を開いていたりするんですね。

これだけ大規模なアンケート調査をしますと、それは全てやりなさいということはとても無理ですけれども、せつかく協力してくださった方々に何かの形で結果報告できるようなことがあれば、これはまた次の機会に大きな協力をいただけると思っていますので、その辺りについて、そういうことができるかどうかということも含めてお話をいただければありがたいなと思っております。

【磯部会長】

ありがとうございます。

住民の方からいろんな意見をいただくという、ちょっと不完全だったところではありますが、そういう意見交換会は確かに実施した。さっきの事業計画の中にはパブリックコメントという公式

な手続きがあるわけですが、多分それ以外に、小柳委員がおっしゃるのは、そういうこと以外に、せっかく住民の皆さんから意見を聞いているんだったら、こんなふうにやりますよ、考えていますよといった、計画を作り上げる時の一つの意見交換みたいなのはできないかなということですね、小柳委員のおっしゃるのは。

【小柳委員】

難しく考えてはいかんとおもいますけれども、また何かの形で広報されるとおもいますけれども、せっかくやっていただいた様々な方々に対して、それに応えられるものが少しあると、次のときに非常に協力いただける結果につながると私自身は思っていますので。実質的に無理な点もあるかもわかりませんが、可能であるならば何か一考を要する必要があるのではないかと考えて、思いだけ申し上げました。

【磯部会長】

事務局として、今答えなくても構いませんけど、小柳委員の意見を参考にさせていただければと思いますけど、何かご発言あればお願いいたします。

【事務局】（松浦係長）

各地域のいろんな交通施策を検討していくときは、住民の方のご意見等は十分踏まえながら、地域の対策をしていく必要があると思っております。

【小柳委員】

ありがとうございます。

【磯部会長】

他いかがでしょうか。

ちょうど計画を作っている途中でいろいろなご意見、コメントを第三者評価委員会からいただきましたので、計画作りに大いに反映させていただきたい、反映させていけないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

このことは報告でございますから議決を得るものではありませんが、ご意見がなければこれでこの報告に対する質疑は終わりにさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

次第4. その他ということでございますけれども、愛知県さんから何か資料とご発言があるようございます。お願いいたします。

【桑原（代理：山口）委員】

愛知県振興部交通対策課の山口と申します。

皆様にお配りさせていただいた緑色のチラシについて少しご紹介させていただきたいと思っております。

愛知県では、今年の3月にあいち公共交通ビジョン（仮称）を策定することになりまして、それにあたりまして公共交通の大切さや市町村圏域を越えた広域連携の重要性を広く県民の皆様にご紹介するシンポジウムを別添チラシのとおり開催させていただくことになりました。

基調講演として名城大学の松本教授を講師にお迎えしております、これからの愛知県の公共交通の進むべき方向性や、その後の公共交通の広域連携のあり方について、関係者の方々、こちらに掲載させていただいておりますパネリストの皆様にお話しただいて、意見交換をさせていただくこととなっております。

こちらのイベントはどなたでもご参加いただけますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

ちなみに、日付は今年の3月15日の水曜日になっておりまして、場所は栄ガスビルの5階です。お申し込みは、こちらについております申し込み用紙をファクスまたはメール等でお送りいただくか、郵送でも全然構いませんのでお申し込みいただきたいと思います。参加者は100名にはなっておりますが、まだ余裕がございますので、ぜひご応募いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

裏面を見ると、この委員のメンバーの名鉄バスの近藤委員と中部運輸局の杉本委員がおられますので、そういう方々の話をお聞きできますので、いろんな方が参加していただければいいかなと思います。

あと、事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】（河村主幹）

それでは、次第「4. その他」としまして、事務局より2点ご連絡をさせていただきたいと思えます。

1点目でございます。

本日お配りいたしました参考資料「こまき巡回の外国人向けコース図と時刻表の拡大版を作成します。」をお願いいたします。

こちらは新年度に向けた新たな利用促進策ということでございます。本市では、こまき巡回バスが平成29年4月から一部のルートと時刻を変更することに併せまして、従来のコース図・時刻表及びポケット版時刻表に加えまして、新たに外国人の方向けのコース図と高齢者の方向けの時刻表の拡大版を、4月以降の配布に向けまして現在作成しているところでございます。

まず外国人の方向けのコース図につきましては、資料上段にイメージ図を記載させていただいておりますが、外国人の方から日本語表記だとわかりづらいというご意見がありましたことに伴いまして、従来のコース図の各バス停の名前の上または下に、ローマ字表記を追加したコース図を作成することといたしました。

次に、高齢者の方向けの時刻表の拡大版につきましては、こちらも時刻表の文字が小さくて見づらいというご意見がございましたので、資料下段の写真のとおり、現在はポケット版として各コースごとに作成しております時刻表をベースに、A3版の二つ折りサイズの拡大版を作成する予定にしております。

連絡事項1については、以上でございます。

続きまして、2点目でございます。

今後の予定でございますが、今年度におきましては会議を開催する予定はございません。委員の

皆様方におかれましては、ご多忙の中、これまで貴重なご意見を頂戴いたしまして、また進行等にご協力いただきまして誠にありがとうございました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

なお、本会議につきましては、来年度も引き続き行っていく予定をしております。次回の会議につきましては5月29日月曜日の午後2時、場所は本日と同じこちらの小牧市役所東庁舎5階の大会議室にて開催したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

なお、会議の詳細につきましては後日改めて通知させていただきますので、ご多忙の中誠に恐縮でございますが、ご予約のほどよろしく願いいたします。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

事務局から二つありまして、一つがローマ字表記と拡大版という形でございます。

二つ目は、次回の日程という形でございます。新年度明けて5月29日ということでございます。ですから、職務上委員になっている方としては、人事異動等で代わる可能性がございますけれども、年度としてはこれが最後だということでございますので、今までどうもありがとうございました。また引き続き、代わった場合でも後任の方にいろんな事務引き継ぎをしていただければ助かると思います。

一つ質問ですが、ローマ字表記というのが、バスの話ですけれども、小牧市全体で統一感を持ってやっておられるのかなというのがちょっと気になりまして。

一つ申し上げますと、例えば小牧駅が発音どおり「KOMAKIEKI」という表示ですけれども、これよく交差点なんかにもいろんな標識がありまして、これ難しいですけれども、駅のことを「ST」、英語のStationの省略で書くものもあるんですね。

二つの意見がありまして、純粹の英語から見ると「ST」のほうがいいという話なんですけど、日本人が話している発音どおりに言いたいとなると、ローマ字表記で「KOMAKIEKI」というのが良いんだということがあられるようです。ですから、市全体のいろんな観光施策とか、いろんな標識の施策の中で統一感があってやっておられるのかなどうかなと思ひまして、ちょっと質問させていただきたいんですけど、いかがでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

今回のこちらのこまき巡回バスのローマ字表記につきましては、こちらの都市政策の交通政策の単独のものでございまして、市全体として一体としてやっているものではございません。

ただ、今回交通網形成計画を今年度、来年度2箇年かけて策定していく中で、今後利用促進の中で、外国人向けの表記については、市全体で統一感を持って実施する必要があると考えております。

以上でございます。

【磯部会長】

いろいろやってみてですね、いろんなご意見が出ると思ひますので、その辺りをうまく吸収して良いものにしていってください。

あと、皆様から何か、その他でご報告とか何かございましたら。

【杉本委員】

運輸支局の杉本であります。

今、高齢者の事故があつて、国を挙げて、政府全体でこの対策をやっぺいこうという中で、警察さんも免許返納の推進という形をさせていただいていると思いますが、返納するとやっぱり、次どういうふうに移動すればいいのか不安がありますので、ぜひこういった交通のマップとかを警察さんの窓口に置いていただきながら、そういった連携をとってやっていただくと、こういったことをしてもこういった交通手段があるんだなということを少しでもわかつていただければと思いますので、事務局さんと警察さんの方で協力いただきまして、やっていただければよろしいのかなと思ひまして発言させてもらひました。

【磯部会長】

ありがとうございます。

そういうご意見があつたことを事務局で確認してください。

他は何かありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、これもちまして、平成28年度第5回の小牧市地域公共交通会議を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。